

第 21 回（平成 29 年度 第 2 回）黒部市公共交通戦略推進協議会 会議録

開催概要

- 日 時 平成 29 年 8 月 3 日（木）14：00～16：00
- 場 所 ホテルアクア黒部 ロイヤルシンフォニー
- 出席者 協議会委員 17 名

委員等名簿

区分	所属	役職	氏名	出欠等	備考
第 6 条 第 2 項 第 1 号	地域公共交通網形成 計画を作成しようと する市町村	黒部市長	堀内 康男	本人出席	会長
第 6 条 第 2 項 第 2 号	関係する公共交通 事業者等	富山地方鉄道株式会社専務取締役	中田 邦彦	本人出席	
		黒部市タクシー協会長	神谷 尚機	本人出席	
		あいの風とやま鉄道株式会社総務企画部長	夏野 光弘	本人出席	
	関係する道路管理者	富山県新川土木センター入善土木事務所長	米田 吉博	工務課長 大井栄	
		黒部市長《再掲》			
第 6 条 第 2 項 第 3 号	関係する公安委員会	黒部警察署長	坂田 俊一	交通課長 中井 智宏	
	地域公共交通 の利用者 市民ボランティア	黒部市自治振興会連絡協議会	能登 政雄	欠席	
		黒部市民生委員児童委員協議会長	田村 豊嗣	欠席	
		特定非営利活動法人黒部まちづくり協議会 ワンコインプロジェクトリーダー	菅野 寛二	本人出席	
		黒部市老人クラブ連合会長	稲澤 孝雄	本人出席	
		くろべ女性団体連絡協議会長	牧野 和子	本人出席	
		公募委員	中谷 靖子	本人出席	
	政策支援 アドバイザー	東京大学大学院工学系研究科教授	原田 昇	欠席	
	その他の当該市町村 が必要と認める者	北陸信越運輸局交通政策部交通企画課長	高橋 智彦	係員 蝶名林 幸雄	
		北陸信越運輸局鉄道部計画課長	平山 一良	欠席	
		北陸信越運輸局富山運輸支局首席運輸企画専門官	山岸 忠政	本人出席	
		富山県総合交通政策室次長	長田 知	主任	
		地域交通・新幹線政策課長		木田 猛	
		黒部商工会議所会頭	川端 康夫	本人出席	座長
		一般社団法人黒部・宇奈月温泉観光局代表理事	川端 康夫	事務局長 坂井 英次	
		YKK株式会社 副社長	井上 孝	本人出席	
		黒部地区担当 黒部事業所長			
		富山県交通運輸産業労働組合協議会議長	石橋 剛	欠席	
		宇奈月商工振興会	羽柴 進一	本人出席	

■事務局：黒部市総務企画部企画政策課

御囲部長、長田課長、山田理事、下坂係長、中川主事、古幡主事、大坂主事

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 経過報告
- 4 協議事項
 - 協議第 6 号 南北循環線の本格運行について
 - 協議第 7 号 石田三日市線のルート変更及びダイヤ改正について
 - 協議第 8 号 新幹線市街地線の路線変更方針について
 - 協議第 9 号 平成 29 年度県・市町村統一ノーマイカー運動への市内路線バス等の参加について
- 5 報告事項
 - 報告第 4 号 ネクストモビリティバザール 2017in 黒部について
 - 報告第 5 号 黒部宇奈月温泉駅乗降調査結果について
- 6 その他
- 7 閉会

開会

定刻通り開会した

挨拶（堀内市長）

- 市長より挨拶を行った。

経過報告

●事務局より、資料に基づき経過報告を行った。

○進行：長田課長

ただいまの経過報告について、ご質問があればお願い致します。

特になし

○長田課長

それでは、議事に移らせていただきます。

議事

（１）協議第 6 号 南北循環線の本格運行について

●事務局より資料説明を行った。

○川端座長

この件について意見を頂ければと思う。南北循環については、社会実験ということで 4 回の変更を加えながら、現在示しているルートになっている。10 月からの本格運行もこのように行うと聞いている。

○井上委員

課題としても出ているが、利用者を増やさなくてはいけない。YKK グループの社員に対し、7 月 1 日から車での乗り入れ許可を厳しくし、沿線の寮に対しては乗り入れ制限を課した。状況を見ていると、全員が利用していないなということも見えるが、10 月にはもっと増えるだろうと思う。ただ、乗り入れ規制をかけすぎると、バスの車両面でも難しくなってくる。

マイカーを制限するのは非常に難しいと実感した。色々な形で公共交通を仕掛ける必要がある。

一般の利用者は、まだあまり増えていない。この将来数値がどうなるのか予測もきっちりすることが大事である。どの程度を見込んで公共交通路線を増やすのかも難題である。

利用者に対して、エンジンをぶら下げるようなと言ったらおかしいが、何度も乗ったら特典があるなどの働きかけがあれば如何かと思う。

社会実験中にもっと色々できればと思うが、まだなにか策があるのでは、というのが率直な思いである。

○事務局

今ほどの指摘について、社会実験期間中は 9 か月で 4 回の変更を行っているため、市民からわかりづらいとの声もいただいている。本格運行で定着する際には、市、地域、事業者と協力して利用促進に努めてまいりたい。

全国的にもポイント制や商店連携等取り組んでいる自治体もある。

研究しながら、成功路線として成り立つような数字を目標値として定めたい。

くろワンの菅野リーダーをはじめ、民間からも協力頂いている。ますますの利用促進に努力してまいりたい。

○井上委員

色々な新しい考え方、他ではやっていないようなことも含めてトライしてほしい。そこに対して案出しのようなこともトライアンドエラーでやるべきだと思うし、今のお答えだけだとこの先も同じような状況になってしまうのではという気がしてならない。

○事務局

東京大学の知恵をお借りして進めている。ここは他に無い独自のところだと思う。市民の需要にあった目標設定に取り組んでいきたい。

○川端座長

一般の方々が利用しやすい環境づくりに取り組んでいただきたい。利用が増えるように工夫をしてもらいたい。

○堀内市長

一般の方の利用について年齢等は把握できているか。高齢者が多くて病院利用が多いなどは把握できているか。こういったことを確認し、思い切ったインセンティブ、例えばこれに乗ると病院の待ち時間が短くなるなどのアイデアを考えて欲しい。

○事務局

事例等を踏まえ特化したものに取り組んでいきたい。

○中田委員

需要に見合った車両配置や運行計画についてという点について、よく日中は乗らないから小さい車両にしてほしいなどと言われることがあるが、それは車両が 2 台必要で効率が悪い。ドライバーの配置についても朝夕は混雑するから増員などと言われるが、それも効率が非常に悪い。総じてコストは高くなる。

どういった意図で記載されたかを確認したい。

○事務局

現在の利用状況をみると、大きな需要がある時間帯に少し小さい車両が運行し、需要が多くない時間帯に大きな車両が運行している場合がある。

すべての時間帯で、需要に対して適切な車両を配置できるかは分からないが、車両の入れ替えが出来れば、車両が小さいためにデマンド便に需要が流れてしまうなどの課題に対応できる。今後も需要はますます増えると想定されており、適所に配置できるように事業者の皆様と調整させて頂きたいという意図である。

○川端座長

他に質問がないようなので承認させて頂いてよろしいか。

（拍手にて承認）

それでは協議第 6 号を承認する。ありがとうございました。

（２）協議第 7 号 石田三日市線のルート変更及びダイヤ改正について

●事務局より資料説明を行った。

○川端座長

何かご意見がある方はいるか。

今ほど上がった往復運行から 8 の字運行となる。利用して頂きやすいような形にという点での運行である。

何もなければ拍手で承認いただけるか。

（拍手にて承認）

それでは協議第 7 号を承認する。ありがとうございました。

（３）協議第 8 号 新幹線市街地線の路線変更方針について

●事務局より資料説明を行った。

○川端座長

新幹線との接続については大丈夫か

○事務局

ルートを変更する便は一部であり、全体としての影響は少ない。また事務局案の段階ではあるが、駅北西の市営駐車場の県道 14 号線との交差点付近にバス停を設置することで、荻生へ向かう前に新幹線駅利用者が降車可能となる。第 2 駐車場の利用客と歩行距離はほぼ変わらない状態となることから、接続が不可能となることは無いと考えている。

○川端座長

他に何かご意見がある方はいるか。

何もなければ拍手で承認いただけるか。

（拍手にて承認）

それでは協議第 8 号を承認する。ありがとうございました。

（４）協議第 9 号 平成 29 年度県・市町村統一ノーマイカー運動への市内路線バス等の参加について

●事務局より資料説明を行った。

○菅野委員

黒部市の実績はどうか。

○事務局

参加事業所は原則公表されないことになっている。市役所は 1 事業所として参加した。

○菅野委員

実績がよくわからない。言われたらやるでは意味がない。県はどのように考えているのか。

なにかあったほうが良いし、変わった取組みをしたらマスコミに取り上げられる。せっかく YKK さんがやってもらっているのに。例えば乗ったらボーナスを増やすとか。税金をもらっている人は特に利用するべきだ。これだけ市長が一生懸命やっているのだから、沢山の人が参加するように色々な取組みをするべき。

○市長

特に黒部市は公共交通を利用する姿勢を示していかないといけない。独自に取り組めることがないか考えて欲しい。

○井上委員

新幹線生地線や南北循環線は対象となっていないようだ。公共交通利用を促進するためにこういった取組みに参加すべきでは。

○市長

市内バス路線が一体となってやるべきであり、対象となるように事務局は検討してほしい。

○事務局

新幹線生地線、南北循環線については、取組みに参加する方向で県へ要望する。この案件については本日の協議を踏まえ、後日、経過を報告し、書面協議にて承認をいただくこととしたい。

○川端座長

他に何かご意見がある方はいるか。

それでは本日議題に上がっていたバス路線については、参加することとし、新幹線生地線

と南北循環線については、参加の方向で事務局から県へ働きかけてもらいたい。

【平成 29 年 8 月 18 日 書面協議にて、市内すべてのバス路線が取り組みに参加することで承認】

報告事項

(1) 報告第 4 号 ネクストモビリティバザール 2017 in 黒部について

●事務局より、資料に基づき報告を行った。

○川端座長

何かご意見はあるか。

特になし。

(2) 報告第 5 号 黒部宇奈月温泉駅乗降調査結果について

●事務局より、資料に基づき報告を行った。

○川端座長

何かご意見はあるか。

特になし。

閉会（堀内市長）

●市長より挨拶を行った。